



HCD-Net

中期目標と事業計画

◆ HCD-Netのミッション

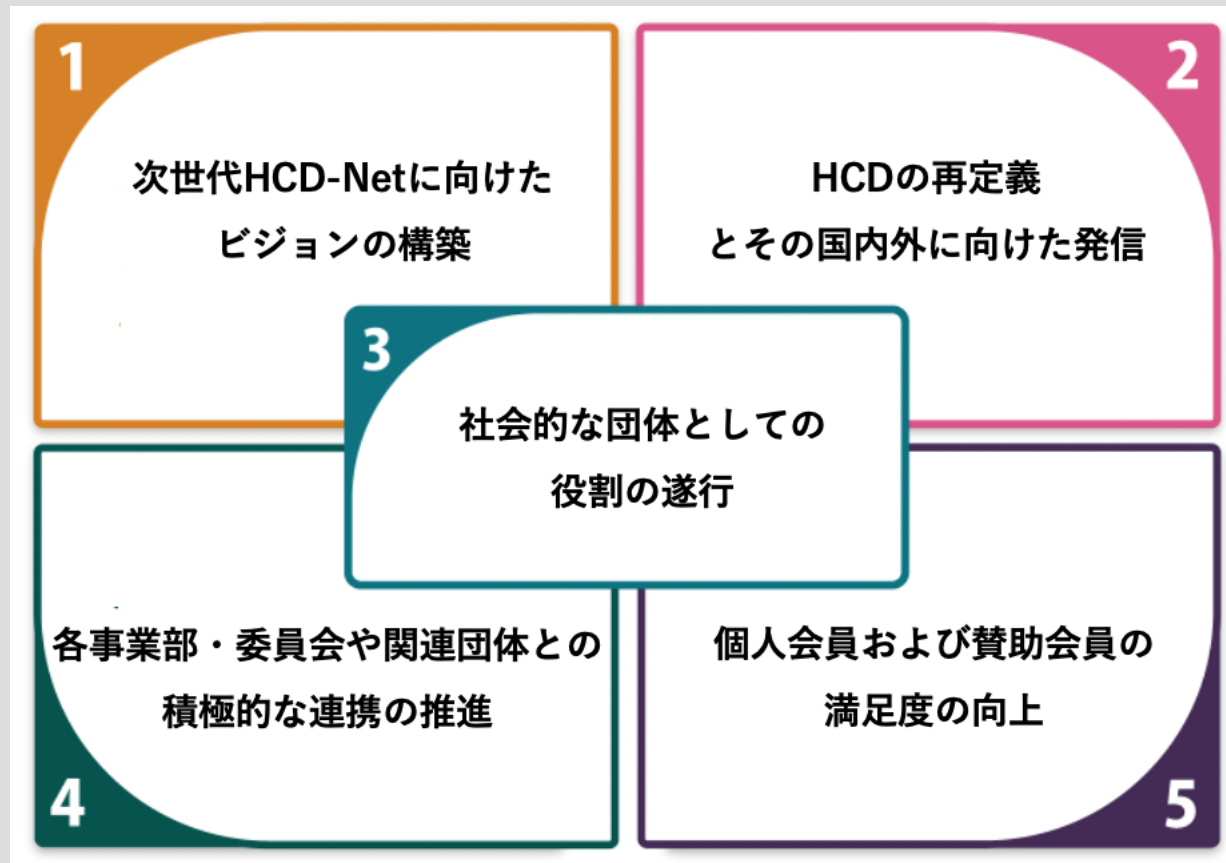
人間中心設計に関する学際的な知識や経験を集め、産学を超えた人間尊重の英知を束ね、人間中心設計導入に関する様々な知識や方法を適切に提供する。

- **多くの人々が便利に快適に暮らせる社会作りへの貢献**
- **経済の発展への寄与**
- **豊かでストレスのない実りある社会の実現**

◆ 中期目標（2023-2025）

- **1. 次世代HCD-Netに向けたビジョンの構築**
- **2. HCDの再定義とその国内外に向けた発信**
- **3. 社会的な団体としての役割の遂行**
- **4. 各事業部・委員会や関連団体との積極的な連携の推進**
- **5. 個人会員および賛助会員の満足度の向上**

中期目標 (2023-2025)



2023年-2025年の中期目標

■ 1. 次世代HCD-Netに向けたビジョンの構築

- ・ 設立時のHCD-Net関係者および関連団体からのヒアリングと今後に向けた各種協議・議論の継続
- ・ 実践型の研究団体（日本学術会議への登録を含む）としての側面の強化
- ・ 理事長・副理事長・理事・評議委員の役割・選定基準の明確化、事務局長または事務局担当理事の設置

■ 2. HCDの再定義とその国内外に向けた発信

- ・ HCDの新たな定義の確立とHCS共創機構との協業によるHCDの啓発
- ・ HCDの諸情報に関する国内に向けた発信
- ・ HCDの諸情報に関する海外に向けた発信

■ 3. 社会的な団体としての役割の遂行

- ・ コンプライアンス規定（モラル規定を含む）の明言化と発信、倫理綱領の確立と発信
- ・ 団体の各種コンテンツなどの知財や著作権の扱いに関する整備
- ・ 社会や市場に向けたHCD認定専門家事業の継続と発展

■ 4. 各事業部・委員会や関連団体との積極的な連携の推進

- ・ 既存の各活動の一層の推進と連携活動の活性化
- ・ 各事業部・各委員会の共通目標の設定（ex. HCD認定専門家・スペシャリストの活動領域の拡張、業種・業界・職種・役割別の教育プログラム・イベントの企画・実施）
- ・ HCD認定専門家制度の安定運営とHCD基礎検定との連携

■ 5. 個人会員および賛助会員の満足度の向上

- ・ HCD正会員・学生会員の増員と会員メリットの強化策への検討と実施
- ・ HCD賛助会員の増員と賛助会員メリットの強化策への検討と実施
- ・ 会員からの多様なニーズに応えられるような団体運営のための事務局体制の維持と強化

部門別の事業計画

2023年度の重点方針と重点実施項目

研究事業部

2023年度重点方針

- 機構誌への投稿論文数と掲載論文数の増加および掲載論文の質向上を図る
- 研究発表会における発表論文件数の増加を図る
- SIG活動の活性化とSIG活動の成果の発信を図る
- 研究事業部の組織強化を図る

2023年度の重点実施項目と目標

- 2022年度目標があともう少しで未達なので、2023年度は昨年度と同水準目標の「達成」を目指す。
- メンター制度の試行（目標：研究の内容は論文に値するものの、執筆力に欠けるために論文として掲載が適わない論文に対して、執筆のサポートを行う制度を試行し、制度化を目指す）
- 前年度同様研究発表会を年2回開催するとともに、年間発表件数を50件に増加させる（2022年度42件、2021年度42件、2020年度35件）。
- 昨年度同様機構誌を年2回発行し、掲載論文数を10編（2022年度・年2回発行、掲載8編、2021年度・年2回発行、掲載8編（追悼記事を除く）、2020年度・年1回発行、掲載4編）に増加させる。
- SIG活動の活性化を図る新たなサポート案を立案するとともに、活動成果を研究発表会、機構誌のいずれかを通じて、定期的に発信する（年度中最低2回）。
- 研究事業部の活動の中心となるべく新たなメンバーをリクルートする。

2023年度の重点方針と重点実施項目

教育事業部

2023年度重点方針

- ◆ HCDに関する知識・学習体験の継続的提供
- ◆ 学び合う仕組みの検討と試行

2023年度の重点実施項目と目標

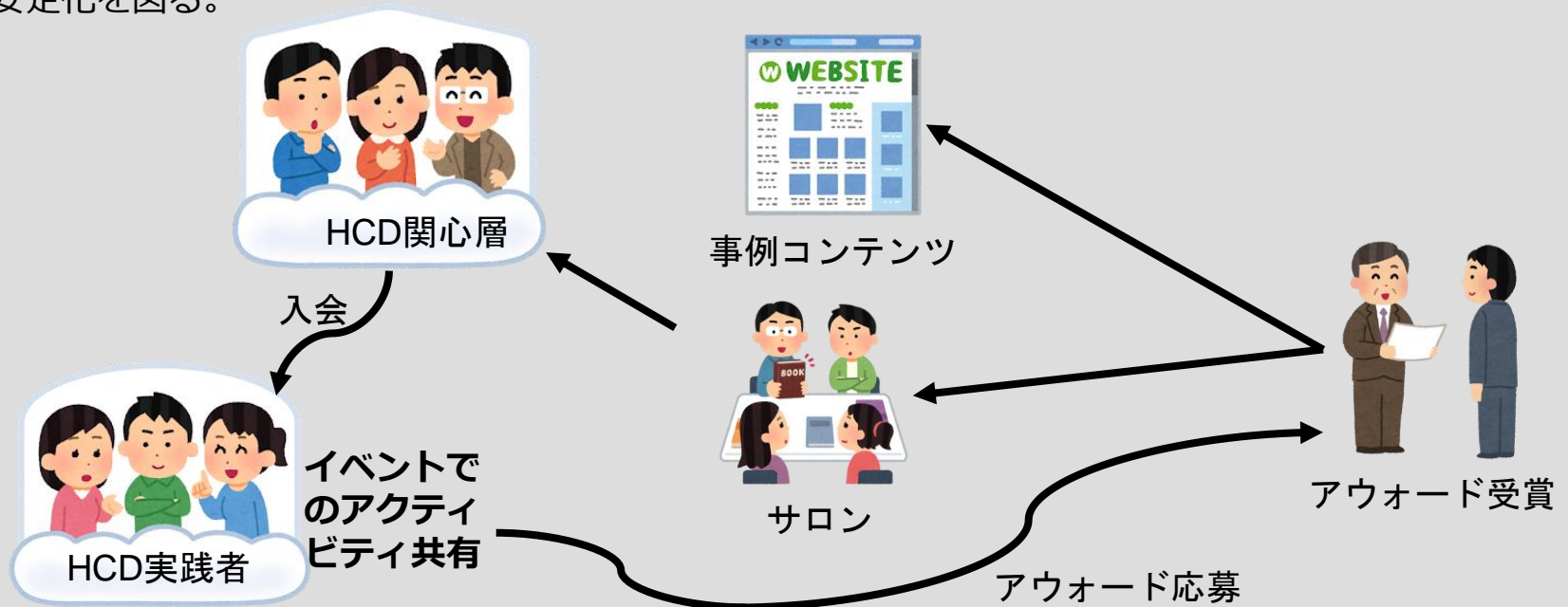
- ◆ 学び合うしくみ
 - 受講者がお互いから学べるしくみを検討しながら、実践
 - 運営の手引きなどの整備し、イベント開催のハードルを下げる
- ◆ オンラインにおける学習環境の充実
 - 録画、オンラインツールなど効果的な方法を検討しながら、実践

2023年度の重点方針と重点実施項目

広報社会化事業部

方針

- フォーラム（秋開催）等の各種イベント充実化による外部への発信・連携等の活動領域拡大・機会創出
- アワードへの参画（応募を含む）者数増に向けて、アクティビティ共有イベント（「みんなでHCDについて話そう！HCDに関することならなんでもOK！」）→アワードへのエントリー→サロン・ケーススタディ等で優良事例・コンテンツを広く展開→アワードの価値向上という生態系の安定化を図る。



2023年度の重点方針と重点実施項目

広報社会化事業部

2023年度重点方針

- 外部団体等との連携・コラボレーション → HCDプレゼンス向上・活動領域拡大
- アワードを活用した広報生態系の安定化
 - イベント（アクティビティ共有）→アワードへの応募促進
 - アワード→コンテンツ・サロン化

2023年度の重点実施項目と目標

- アワードの運営
- アクティビティ共有イベントの定例化
- フォーラムの企画・運営
- 春イベントの企画・運営（体制づくり）
- アニュアルレポート
- HCDライブラリ出版方針・計画策定
- HCD広報・社会化に向けた新たな取り組み着手

2023年度の重点方針と重点実施項目

広報社会化事業部

2023年度活動項目

○アワードの運営・推進

- ☑ 「みんなでHCDについて話そう！HCDに関することならなんでもOK！」の定例開催

○フォーラム（秋開催）の運営体制再構築・企画

- ☑ 在り方の再確認、開催時期見直しを含む構成再検討

○春イベントの企画・運営（体制づくり）

○内容の検討

○外部団体等との連携・コラボレーション

- ☑ 医療デザインサミット2023の共催（新規）
- ☑ メディカルDX・ヘルステックフォーラム2023への協賛（継続）
- ☑ Quantitative Ethnographyのワークショップ開催（連携）

○アニュアルレポート制作

○新規取り組み

- ☑ デジタル・バッジの導入トライアル

2023年度の重点方針と重点実施項目

ビジネス支援事業部

重点方針

- ◆ HCDマネージメント社会実装、専門家のスキルを発揮できる環境作り、HCDツールの提供

重点実施項目と目標

◆ 運営委員会

- ・ HCDビジネスシンポジウムを主体とした事業部の活動情報発信、EdgeTech+参加（HCアーキテクチャーの構築・理論化を通じた委員会間の連携強化）

◆ HCDマインドセット醸成委員会

- ・ 人間中心のデザインマネージメント啓発、導入、推進 ・ スキルセットとマインドセットのワークショップ開催

◆ HCD導入パターンWG

- ・ 成功/失敗事例の23パターン公開～HCD組織成熟度との関連付け（イベント5回/年開催）

2023年度の重点方針と重点実施項目

ビジネス支援事業部

◆ 自動運転社会におけるHAII検討委員会

- ・ 第1期活動課題の体系的理解と解決のアプローチ探索、ガイドライン/標準化推進
- ・ 自動運転“地域DX”コンソーシアムとの連携で人間中心MaaSビジネスの社会実装加速

◆ 「利用時品質」普及委員会

- ・ 利用品質メトリクス開発ワークショップを1回開催
- ・ 利用時品質談話会を2回開催
- ・ Usability/HCD関連のセミナーを2回開催
- ・ 東海大辛島研究室での利用時品質計測

◆ HCSA委員会

- ・ 海外で開発されているツールの概観整理も含めたデジタルソリューションについての議論、ワークショップ実施

ビジネス支援事業部 中期計画II (2023~2025 活動スキーム)

専門家のスキルを発揮できるビジネス環境/市場創成
 HCDビジネスシンポジウムでの情報発信

HCDマネジメント
 HCD啓発、導入、推進

**HCDマインドセット
 醸成委員会 (総論)**



人間中心のデザインマネジメント啓発
 組織導入推進

HCD&OS共創プロジェクト

HCD導入パターンWG (各論)

パターンランゲージを用いたHCDの組織導入 HCD組織成熟度との関連付け

- ・カードゲーム化、書籍化


HCアーキテクチャ構築/理論化


人間中心の社会を目指す

利用の観点からの全体構造とは何か

他のアーキテクチャとの関係性
 DADCとの連携について
 取り扱うスコープについて
 (広い1軸⇔狭い3軸)
 意味軸/時間軸/空間軸の考察
 拡張/展開方法

構成要素の抽出、構成要素間をつなぐ

構成要素のリスト化/汎化/対象
 つなぐ基準、制約、禁止

専門性ノウハウのマネジメント

適用基準、連携基準、相反対策

HCプロセス

人間中心のシステム開発推進

HCSA委員会

HCSAの社会実装
 境町・みなとみらいMaaSの議論

「利用時品質」普及委員会

利用時品質+CIF
 人間中心設計の最新国際規格

自動運転社会における

HAII検討委員会

AIと人の関係考察 外向けHMI検討

“地域DX”コンソーシアム

境町でのMaaSの社会実装

ツール開発・提供 ワークショップ・セミナー企画/運営

- ・ビジネス成功事例研究/書籍化
- ・CIFの普及促進ツール
- ・利用品質メトリクス
- ・カードゲーム (Morris) の利用拡大
- ・Digital Ethics Compass

- ・HCD導入パターン
- ・各種ガイドライン化
- ・新たな国際規格化
- ・オンデマンド教材開発

- ビジネス支援の情報発信
 - ・HCDビジネスシンポジウム
 - ・EdgeTech+
- 各セミナー/ワークショップ企画/運営 (広報、保守、販売、スポンサー探し)
 - ・利用品質メトリクス開発ワークショップ
 - ・Usability/HCD関連セミナー

2023年度の重点方針と重点実施項目

HCD専門資格認定センター

重点方針

- 認定試験の拡大と安定運用
- 更新審査の安定運用
- HCD基礎検定との協力体制の確立

重点実施項目と目標

- 更新人数の増加を受け、更新制度の審査員を公募制度にする
- 新メンバーを加えて活動の安定化、負荷の分散をする
- 運営業務のシステム化を図り、効率化する
- 事務局の体制の一層の整備を進め、運営の安定化を図る
- HCD基礎検定との協力体制を確立する

重点方針と重点実施項目

関西支部

2023年度重点方針

- ◆実践に役立つイベントを開催する
 - ・参加比率の高いメーカーエンジニアをメインターゲットとする
 - ・KJ法などのプリミティブな学びを得られるようにする
 - ・実践事例を共有することにより、さらなる実践数の増加を図る
- ◆実践数を増加させる土台として参加者の裾野を広げる
 - ・幅の広いテーマによる関西フォーラムの開催
 - ・参加しやすい無料イベントの開催
 - ・学会発表等による啓発活動の実施
 - ・これまで関係の無かった業界や分野での啓発活動の実施
- ◆未来を見据えコミュニティを広げる
 - ・首都圏以外の地方でのイベントの開催
 - ・子供向けイベントの開催

2023～2025年度中期方針

- ◆地方で独自で活動できる拠点を作り、HCD導入を促進する

2023年度の重点方針と重点実施項目

東海支部

2023年度重点方針

- ◆ 東海地区にニーズにあったセミナー・イベントの実施
- ◆ 運営メンバー、参加者とのHCD実践情報共有の活性化

2023年度の重点実施項目と目標

- ◆ 東海支部独立運営を記念したイベントの開催
- ◆ 交流イベントを開催し東海地区のニーズを把握
- ◆ HCD実践情報を共有できる活動の検討

2023年度の重点方針と重点実施項目

HCD倫理規程検討ワーキンググループ

重点方針

- HCD倫理規程の展開：
FY20-21にて策定した倫理規程を業界及び一般に広報・展開する

重点実施項目と目標

- 事業者・エージェンシーによる実践に向けての議論
- メディアを通じた社会への発信
- 一般、関連団体、学協会、大学への広報
- 国際的な展開

2023年度の重点方針と重点実施項目

ウェブワーキンググループ

重点方針

- ウェブサイトの運用の安定化をする
- 時代にあったソーシャルメディア運用をする

重点実施項目と目標

- 安定的な技術リソースの確保が難しい前提で、HCD-Netのウェブサイトを「事務局のみ」で運用できる基盤システムへ移行する
- 新メンバーを加えて活動の安定化、負荷の分散をする
- 広報社会化事業部との連携を深め、一体として運営を進める

2023年度の重点方針と重点実施項目

事務局

2023年度重点方針

- ・ 各部門の諸活動を支え、安定的な支援を実施する。
- ・ 会員の皆さまが、より安心して積極的に活動参加できる体制を構築する。

2023年度の重点実施項目と目標

- ①個人情報保護法に沿った運営体制の明示と遂行を継続して実施する。
- ②管理業務および諸活動サポート業務のマニュアル化促進を継続する。
- ③各部門の課題・要望を把握、共有し、円滑な運営に繋げる。
- ④会員および資格保持者増加に伴うインフラ整備と体制強化の具体策を検討する。
- ⑤インボイス制度への準備と対応を適切に実施する。